

# 第65回「山形県内家計の消費動向調査」結果 (令和4年9月調査)

消費マインドは足踏み状態。先行きは引き続き慎重姿勢

# 【調査の要旨】

- 今後の見通しは、消費指数が▲110.3 (今回調査比7.1ポイント下落)と悪化の見込みとなっている。内訳は景気判断指数が▲59.5 (今回調査比1.0ポイント下落)、暮らし向き判断指数が▲50.8 (今回調査比6.1ポイント下落)といずれも悪化が見込まれている。
- ▶ 大きな買い物への支出意向をみると、「海外旅行」は横ばい、「住宅(マンション・中古住宅含む)・土地」は上昇となり、「自家用車(中古車含む)」「住宅リフォーム」は低下となった。
- > 家計簿調査は、収入面では可処分所得(収入の手取り額)が464 千円と前年同期に 比べて33 千円の減少となった。支出面では支出計が392 千円と前年同期比で5 千円 の増加となった。その結果、平均消費性向(家計支出/可処分所得)は84.4%となり、 前年同期に比べて6.6 ポイントの上昇となった。
- ▶ 夏季ボーナスの支給状況を尋ねたところ、「支給された」が 76.2% (前年比 3.3 ポイント上昇) と前年から上昇となり、7割以上を占めた。

令和4年10月 株式会社フィデア情報総研



# 目次

I.	消費指	数(総括)	1
II.	消費	指数(内訳)	3
1	. 景気	判断	3
	(1)	景気判断の概況	3
	(2)	景気判断の推移	4
2	. 暮ら	し向き判断	5
	(1)	暮らし向き判断の概況	5
	(2)	暮らし向き判断の推移	6
III.	支出	意向	7
	(1)	支出意向 D I の推移	7
	(2)	支出意向(大きな買い物)の推移	8
IV.	家計	簿調査	9
V.	特別調	査	11
1	. 夏季	ボーナスの支給状況と使い道について	11
	(1)	夏季ボーナス支給の有無	11
	(2)	支給状況	11
	(3)	主な使い道	12
	(4)	夏季ボーナスを貯蓄する目的	12
VI.	調査	の概要	13



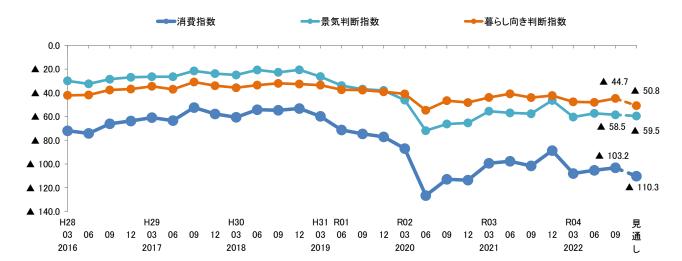
# I. 消費指数 (総括)

# ~消費マインドは足踏み状態。先行きは引き続き慎重姿勢 ~

消費指数は $\triangle 103.2$ (前期比 2.1 ポイント上昇)と 2 期連続の改善となった。内訳は景気判断指数が $\triangle 58.5$ (前期比 1.2 ポイント下落)、暮らし向き判断指数が $\triangle 44.7$ (前期比 3.3 ポイント上昇)と、景気判断指数が悪化となった一方、暮らし向き判断指数は改善となった。

今後の見通しについては、消費指数が $\blacktriangle$ 110.3(今回調査比 7.1 ポイント下落)と悪化の見込みとなっている。内訳は景気判断指数が $\blacktriangle$ 59.5(今回調査比 1.0 ポイント下落)、暮らし向き判断指数が $\blacktriangle$ 50.8(今回調査比 6.1 ポイント下落)といずれも悪化が見込まれている。

物価の上昇に伴う家計負担増加の影響などを受けて、足元の消費マインドには停滞感がみられる。また、先行きへの不透明感は依然強く、消費の慎重姿勢は今後も続くものと考えられる。



図表 1 消費指数の推移

#### 【指数の見方】

消費指数は(1) 景気判断指数(景気・雇用環境・物価の3項目で構成)と(2)暮らし向き指数(世帯収入・保有資産・お金の使い方・暮らしのゆとりの4項目で構成)の合計からなり、値は200~▲200の範囲をとります。指数がプラスであれば家計の消費マインドは高揚していると判断します。一方、指数がマイナスであれば、消費マインドは低迷していると判断します。

数値は四捨五入により一致しない場合があります。



## 図表 2 消費指数(内訳)の推移

				[	図表 2	消費指数	(内訳)	の推移			
<b>消費指</b> 調査時期		W # 16 #L									
- 四旦 - 可 : 1	7 <b>7</b>	消費指数	(1)景気判断指導	štr			(2)暮らし	5 专业账指数			
			(1)泉水門町田3	1)景気	②雇用環境	3物価	(と)存りし!	4世帯収入	⑤保有資産	⑥お金の使い方	⑦暮らしのゆとり
29年	9 月	▲ 52.4	▲ 21.5	▲ 5.1	▲ 0.1	▲ 16.3	<b>▲</b> 30.	9 🔺 6.3	▲ 9.0	▲ 5.1	<b>▲</b> 10.5
	12 月	▲ 57.8	<b>▲</b> 23.8	<b>▲</b> 4.8	▲ 0.3	▲ 18.7	<b>▲</b> 34.		▲ 8.7	▲ 6.2	
30年	3月	▲ 60.6	<b>▲</b> 24. 9	<b>▲</b> 4.3	▲ 0.4	▲ 20.2	<b>▲</b> 35.		<b>▲</b> 9.9	<b>▲</b> 7.0	<b>▲</b> 11.7
	6 月 9 月	▲ 54.2 ▲ 54.7	▲ 20.7 ▲ 22.7	▲ 2.9 ▲ 4.2	0. 4 • 0. 8	▲ 18.2 ▲ 17.7	▲ 33. ▲ 32.		▲ 9.8 ▲ 9.4	▲ 5.5 ▲ 5.0	▲ 11.4 ▲ 10.6
	12月	▲ 54. 7 ▲ 53. 2	▲ 20. 6	▲ 4. 2 ▲ 4. 3	0.6	▲ 17.7 ▲ 16.9	▲ 32.		▲ 9.4 ▲ 8.7	▲ 6.0	▲ 10.6
31年	3 月	▲ 59.8	▲ 26.3	▲ 6.6	▲ 0.6	▲ 19.1	<b>▲</b> 33.		▲ 9.5	▲ 6.6	
01年	6 月	▲ 71.3	▲ 33.9	▲ 8.9	▲ 3.4	▲ 21.6	▲ 37.	4 🔺 8.2	▲ 9.8	▲ 7.3	<b>▲</b> 12. 1
	9 月	<b>▲</b> 74.6	▲ 36.9	▲ 9.8	▲ 5.4	<b>▲</b> 21.7	▲ 37.	<b>7</b> ▲ 9.6	<b>▲</b> 9.7	▲ 6.8	<b>▲</b> 11. 6
	12 月	▲ 77.1	▲ 38.0	▲ 10.1	▲ 5.6	▲ 22.3	▲ 39.		▲ 10.7	▲ 7.7	▲ 11.9
02年	3月	▲ 87. 0	<b>▲</b> 46. 1	▲ 15.6	▲ 10.2	▲ 20.3	<b>▲</b> 40.		▲ 11.6	<b>▲</b> 8.1	▲ 12.2
	6 月 9 月	▲ 126.6 ▲ 112.9	▲ 71.9 ▲ 66.3	▲ 25.1 ▲ 23.0	▲ 25.3 ▲ 21.6	▲ 21.5 ▲ 21.7	▲ 54. ▲ 46.		▲ 13.6 ▲ 11.0	▲ 13.1 ▲ 11.0	▲ 15.2 ▲ 13.1
	12 月	▲ 113. 6	<b>▲</b> 65. 4	<b>▲</b> 23.5	<b>▲</b> 23.4	<b>▲</b> 18.5	<b>▲</b> 48.		<b>▲</b> 11.5	<b>▲</b> 10.7	<b>▲</b> 13.3
03年	3 月	▲ 99.4	▲ 55.5	▲ 18.2	▲ 18.5	▲ 18.8	<b>▲</b> 43.		▲ 9.5	<b>▲</b> 11.9	<b>▲</b> 11.9
	6 月	<b>▲</b> 97. 7	▲ 56.9	<b>▲</b> 17.8	<b>▲</b> 17.4	<b>▲</b> 21.7	<b>▲</b> 40.	8 🔺 10.0	<b>▲</b> 9.1	<b>▲</b> 10.0	<b>▲</b> 11. 1
	9 月	▲ 101.6	▲ 57.6	<b>▲</b> 17.8	<b>▲</b> 15.9	<b>▲</b> 23.9	<b>▲</b> 44.		<b>▲</b> 9.7	<b>▲</b> 12.0	<b>▲</b> 12. 1
04/=	12 月	▲ 88.7	<b>▲</b> 46. 4	<b>▲</b> 11.7	▲ 10.4	▲ 24.3	<b>▲</b> 42.		▲ 8.9	▲ 10.5	▲ 12.3
04年	3 月 6 月	▲ 108.0 ▲ 105.3	▲ 60. 4 ▲ 57. 3	▲ 18.2 ▲ 16.5	▲ 14.5 ▲ 11.6	▲ 27.7 ▲ 29.2	▲ 47. ▲ 48.		▲ 10.9 ▲ 12.4	▲ 12.0 ▲ 10.4	▲ 13.4 ▲ 13.9
	9月	▲ 103. 3	<b>▲</b> 58. 5	▲ 16.6	▲ 11.0 ▲ 12.0	▲ 29. 2 ▲ 29. 9	▲ 44.		▲ 10.3	▲ 10.4 ▲ 10.3	▲ 13.3
	見通し	<b>▲</b> 110. 3	▲ 59.5	<b>▲</b> 17.5	<b>▲</b> 13.0	▲ 29.0	<b>▲</b> 50.		<b>▲</b> 11.6	<b>▲</b> 12.8	▲ 13.8
(前期	ı±١										
調査時期		消費指数									
			(1)景気判断指	数			(2)暮らし[	向き判断指数			
				①景気	②雇用環境	③物価		④世帯収入	⑤保有資産	⑥お金の使い方	
29年	9月	11.0	4. 9	0.1	1.0	3.8	6.		1. 2	2.7	1.5
30年	12 月	▲ 5.4 ▲ 2.8	▲ 2.3 ▲ 1.1	0. 3	▲ 0.2 ▲ 0.1	▲ 2.4 ▲ 1.5	▲ 3. ▲ 1.		0.3 <b>1</b> .2	▲ 1.1 ▲ 0.8	<u>▲ 1.2</u> 0.0
'	6 月	6. 4	4. 2	1. 4	0.8	2. 0	2.		0. 1	1. 5	0. 3
	9月	▲ 0.5	▲ 2.0	▲ 1.3	▲ 1.2	0. 5	1.		0. 4	0. 5	0.8
31年	12 月	1.5 • 6.6	2. 1 <b>A</b> 5. 7	▲ 0.1 ▲ 2.3	1.4 <b>A</b> 1.2	0.8 <b>A</b> 2.2	<b>▲</b> 0.		0.7 <b>A</b> 0.8	▲ 1.0 ▲ 0.6	<b>▲</b> 0.3
01年	6月	▲ 11.5	<b>▲</b> 7.6	<b>▲</b> 2.3	<b>▲</b> 2.8	▲ 2. 2 ▲ 2. 5	<b>▲</b> 3.		<b>▲</b> 0.3	<b>▲</b> 0.7	▲ 1.2
	9 月	▲ 3.3	▲ 3.0	▲ 0.9	▲ 2.0	▲ 0.1	<b>▲</b> 0.		0.1	0. 5	0. 5
02年	12 月	<b>▲</b> 2.5	<b>▲</b> 1.1	▲ 0.3	▲ 0.2	▲ 0.6	<u> </u>		▲ 1.0	▲ 0.9	▲ 0.3
02#	3 月 6 月	▲ 9.9 ▲ 39.6	▲ 8.1 ▲ 25.8	▲ 5.5 ▲ 9.5	▲ 4.6 ▲ 15.1	2. 0 <b>A</b> 1. 2	▲ 1. ▲ 13.		▲ 0.9 ▲ 2.0	▲ 0.4 ▲ 5.0	▲ 0.3 ▲ 3.0
	9 月	13. 7	5. 6	2. 1	3. 7	▲ 0.2	8.		2. 6	2. 1	2.
00 =	12 月	▲ 0.7	0. 9	▲ 0.5	▲ 1.8	3. 2	▲ 1.		▲ 0.5	0.3	▲ 0.2
03年	3 月 6 月	14. 2 1. 7	9. 9 ▲ 1. 4	5. 3 0. 4	4. 9 1. 1	▲ 0.3 ▲ 2.9	4. 3.		2. 0 0. 4	▲ 1.2 1.9	1. 4 0. 2
	9月	▲ 3.9	<b>▲</b> 0. 7	0. 0	1. 5	<b>▲</b> 2.2	<b>▲</b> 3.		▲ 0.6	▲ 2.0	▲ 0.4
	12 月	12. 9	11. 2	6. 1	5. 5	▲ 0.4	1.		0.8	1.5	▲ 0.2
04年	3 月 6 月	▲ 19.3 2.7	▲ 14.0 3.1	▲ 6.5 1.7	▲ 4.1 2.9	▲ 3.4 ▲ 1.5	▲ 5. ▲ 0.		▲ 2.0 ▲ 1.5	▲ 1.5 1.6	▲ 1.1 ▲ 0.5
	9月	2. 1	<b>▲</b> 1. 2	▲ 0.1	▲ 0.4	<b>▲</b> 0.7			2. 1	0. 1	
	見通し	▲ 7.1	▲ 1.0	▲ 0.9	<b>▲</b> 1.0				▲ 1.3	▲ 2.5	▲ 0.5
(前年	同期記	<b>差</b> )									
調査時期	<b>朔</b>	消費指数	/	w.			/-\ <del></del>	- Is also the del			
			(1)景気判断指導	(X)	②雇用環境	3物価	(2) 春らしに	りき判断指数 ④世帯収入	⑤保有資産	⑥お金の使い方	⑦暮らしのゆとり
29年	9 月	13. 7	7.0	2. 2	4.3		6.	7 1.7	2. 0	2. 1	
20.5	12 月	5. 9	3. 1	1.3	3. 5	▲ 1.7			1.4	1.3	
30年	3 月 6 月	0. 3 9. 2	1. 5 5. 7	1. 6 2. 3	3. 6 1. 5	▲ 3.7 1.9			▲ 0.6 0.4	0. 1 2. 3	
	9月	9. 2 ▲ 2. 3	5. 7 ▲ 1. 2	0.9	1. 3 ▲ 0. 7				0.4	0.1	
	12 月	4. 6	3. 2	0. 5	0.9	1.8			0.0	0. 2	
31年	3 月	0.8	▲ 1.4	▲ 2.3	▲ 0.2	1.1	2.	2 0.6	0. 4	0.4	
01年			<b>▲</b> 13. 2	<b>▲</b> 6.0	▲ 3.8	▲ 3.4	▲ 3.	9 🔺 1.4	0.0	▲ 1.8	▲ 0.7
	6 月	<b>▲</b> 17. 1									<b>▲</b> 1.0
	9 月	▲ 19.9	<b>▲</b> 14. 2	▲ 5.6	<b>▲</b> 4.6	<b>▲</b> 4.0			▲ 0.3	▲ 1.8	
02/4	9月 12月	▲ 19.9 ▲ 23.9	▲ 14.2 ▲ 17.4	▲ 5.6 ▲ 5.8	▲ 6.2	▲ 5.4	<b>▲</b> 6.	<b>5</b> ▲ 1.8	▲ 2.0	▲ 1.7	▲ 1.0
02年	9月 12月 3月	▲ 19.9 ▲ 23.9 ▲ 27.2	▲ 14. 2 ▲ 17. 4 ▲ 19. 8	▲ 5.6 ▲ 5.8 ▲ 9.0	▲ 6.2 ▲ 9.6	▲ 5.4 ▲ 1.2	<b>▲</b> 6.	5 ▲ 1.8 4 ▲ 2.5	▲ 2.0 ▲ 2.1	▲ 1.7 ▲ 1.5	▲ 1.0 ▲ 1.3
02年	9月 12月	▲ 19.9 ▲ 23.9	▲ 14.2 ▲ 17.4	▲ 5.6 ▲ 5.8	▲ 6.2	▲ 5.4	▲ 6. ▲ 7. ▲ 17.	5 ▲ 1.8 4 ▲ 2.5 3 ▲ 4.6	▲ 2.0	▲ 1.7	▲ 1.0 ▲ 1.3 ▲ 3.1
02年	9月 12月 3月 6月	▲ 19.9 ▲ 23.9 ▲ 27.2 ▲ 55.3	▲ 14.2 ▲ 17.4 ▲ 19.8 ▲ 38.0	▲ 5.6 ▲ 5.8 ▲ 9.0 ▲ 16.2	▲ 6.2 ▲ 9.6 ▲ 21.9	▲ 5.4 ▲ 1.2 0.1	▲ 6. ▲ 7. ▲ 17.	5 ▲ 1.8 4 ▲ 2.5 3 ▲ 4.6 9 ▲ 1.9	▲ 2.0 ▲ 2.1 ▲ 3.8	▲ 1.7 ▲ 1.5 ▲ 5.8	▲ 1.0 ▲ 1.3 ▲ 3.1 ▲ 1.8
02年	9 月 12 月 3 月 6 月 9 月 12 月 3 月	▲ 19.9 ▲ 23.9 ▲ 27.2 ▲ 55.3 ▲ 38.3 ▲ 36.5	▲ 14. 2 ▲ 17. 4 ▲ 19. 8 ▲ 38. 0 ▲ 29. 4 ▲ 27. 4	▲ 5.6 ▲ 5.8 ▲ 9.0 ▲ 16.2 ▲ 13.2 ▲ 13.4	▲ 6.2     ▲ 9.6     ▲ 21.9     ▲ 16.2     ▲ 17.8     ▲ 8.3	▲ 5.4 ▲ 1.2 0.1 0.0 3.8 1.5	▲ 6. ▲ 7. ▲ 17. ▲ 8. ▲ 9.	5	▲ 2.0 ▲ 2.1 ▲ 3.8 ▲ 1.3 ▲ 0.8 2.1	▲ 1.7 ▲ 1.5 ▲ 5.8 ▲ 4.2 ▲ 3.0	▲ 1.0 ▲ 1.3 ▲ 3.1 ▲ 1.4 ← 1.4
	9 月 12 月 3 月 6 月 9 月 12 月 3 月 6 月	▲ 19.9 ▲ 23.9 ▲ 27.2 ▲ 55.3 ▲ 38.3 ▲ 36.5 ▲ 12.4 28.9	▲ 14.2 ▲ 17.4 ▲ 19.8 ▲ 38.0 ▲ 29.4 ▲ 27.4 ▲ 9.4 15.0	▲ 5.6 ▲ 5.8 ▲ 9.0 ▲ 16.2 ▲ 13.2 ▲ 13.4 ▲ 2.6 7.3	▲ 6.2 ▲ 9.6 ▲ 21.9 ▲ 16.2 ▲ 17.8 ▲ 8.3 7.9	▲ 5.4 ▲ 1.2 0.1 0.0 3.8 1.5 ▲ 0.2	▲ 6.	5	▲ 2.0 ▲ 2.1 ▲ 3.8 ▲ 1.3 ▲ 0.8 2.1 4.5	▲ 1.7 ▲ 1.5 ▲ 5.8 ▲ 4.2 ▲ 3.0 ▲ 3.8 3.1	▲ 1.0 ▲ 1.3 ▲ 3.1 ▲ 1.5 ▲ 1.4 0.3 3.5
	9 月 12 月 3 月 6 月 9 月 12 月 3 月 6 月 9 月	▲ 19.9 ▲ 23.9 ▲ 27.2 ▲ 55.3 ▲ 38.3 ▲ 36.5 ▲ 12.4 28.9 11.3	▲ 14.2 ▲ 17.4 ▲ 19.8 ▲ 38.0 ▲ 29.4 ▲ 27.4 ▲ 9.4 15.0 8.7	▲ 5.6 ▲ 5.8 ▲ 9.0 ▲ 16.2 ▲ 13.2 ▲ 13.4 ▲ 2.6 7.3 5.2	▲ 6.2     ▲ 9.6     ▲ 21.9     ▲ 16.2     ▲ 17.8     ▲ 8.3     7.9     5.7	▲ 5.4	▲ 6. ▲ 7. ▲ 17. ▲ 8. ▲ 9. ▲ 3. 13.	5	▲ 2.0 ▲ 2.1 ▲ 3.8 ▲ 1.3 ▲ 0.8 2.1 4.5 1.3	▲ 1.7	▲ 1.0 ▲ 1.3 ▲ 3.1 ▲ 1.5 ▲ 1.4 0.3 3.5 1.0
03年	9 月 12 月 3 月 6 月 9 月 12 月 9 月 12 月	▲ 19.9 ▲ 23.9 ▲ 27.2 ▲ 55.3 ▲ 38.3 ▲ 36.5 ▲ 12.4 28.9 11.3 24.9	▲ 14.2 ▲ 17.4 ▲ 19.8 ▲ 38.0 ▲ 29.4 ▲ 27.4 ▲ 9.4 15.0 8.7 19.0	▲ 5.6 ▲ 5.8 ▲ 9.0 ▲ 16.2 ▲ 13.2 ▲ 13.4 ▲ 2.6 7.3 5.2 11.8	▲ 6.2     ▲ 9.6     ▲ 21.9     ▲ 16.2     ▲ 17.8     ▲ 8.3     7.9     5.7     13.0	▲ 5.4  ▲ 1.2  0.1  0.0  3.8  1.5  ▲ 0.2  ▲ 2.2  ▲ 5.8	▲ 6.	5	▲ 2.0 ▲ 2.1 ▲ 3.8 ▲ 1.3 ▲ 0.8 2.1 4.5 1.3 2.6	▲ 1.7	▲ 1.0  ▲ 1.3  ▲ 3.1  ▲ 1.5  ▲ 1.4  0.3  3.5  1.0
	9 月 12 月 3 月 6 月 9 月 12 月 3 月 6 月 9 月	▲ 19.9 ▲ 23.9 ▲ 27.2 ▲ 55.3 ▲ 38.3 ▲ 36.5 ▲ 12.4 28.9 11.3	▲ 14.2 ▲ 17.4 ▲ 19.8 ▲ 38.0 ▲ 29.4 ▲ 27.4 ▲ 9.4 15.0 8.7	▲ 5.6 ▲ 5.8 ▲ 9.0 ▲ 16.2 ▲ 13.2 ▲ 13.4 ▲ 2.6 7.3 5.2	▲ 6.2     ▲ 9.6     ▲ 21.9     ▲ 16.2     ▲ 17.8     ▲ 8.3     7.9     5.7	▲ 5.4	▲ 6.	5	▲ 2.0 ▲ 2.1 ▲ 3.8 ▲ 1.3 ▲ 0.8 2.1 4.5 1.3	▲ 1.7	▲ 1.0 ▲ 1.3 ▲ 3.1 ▲ 1.5 ▲ 1.4 ← 0.3 ← 3.5 ← 1.4 ← 0.3 ← 1.5 ← 1.4 ← 0.3 ← 1.5 ← 1.6 ← 1.6 ← 1.6
03年	9月 12月 3月 6月 9月 12月 3月 6月 9月 12月 3月	▲ 19.9 ▲ 23.9 ▲ 27.2 ▲ 55.3 ▲ 38.3 ▲ 36.5 ▲ 12.4 28.9 11.3 24.9 ▲ 8.6	▲ 14.2 ▲ 17.4 ▲ 19.8 ▲ 38.0 ▲ 29.4 ▲ 27.4 ▲ 9.4 15.0 8.7 19.0 ▲ 4.9	▲ 5.6 ▲ 5.8 ▲ 9.0 ▲ 16.2 ▲ 13.2 ▲ 13.4 ▲ 2.6 7.3 5.2 11.8	▲ 6.2     ▲ 9.6     ▲ 21.9     ▲ 16.2     ▲ 17.8     ▲ 8.3     7.9     5.7     13.0	▲ 5.4  ▲ 1.2  0.1  0.0  3.8  1.5  ▲ 0.2  ▲ 2.2  ▲ 5.8  ▲ 8.9	▲ 6.	5	▲ 2.0 ▲ 2.1 ▲ 3.8 ▲ 1.3 ▲ 0.8 2.1 4.5 1.3 2.6	▲ 1.7  ▲ 1.5  ▲ 5.8  ▲ 4.2  ▲ 3.0  ▲ 3.1  ▲ 1.0  0.2	▲ 1.0 ▲ 1.3 ▲ 3.1 ▲ 1.5 ▲ 1.4 ← 0.3 3.5 ← 1.0 ← 1.5 ▲ 2.2



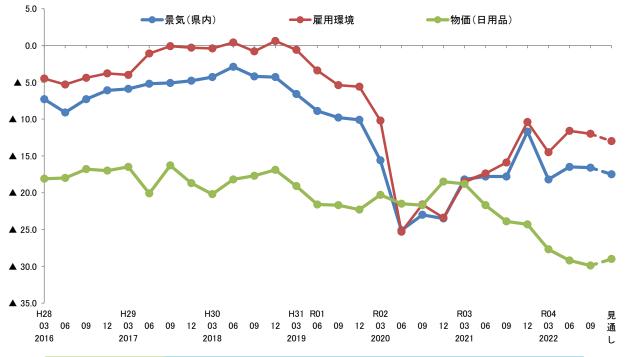
# II. 消費指数(内訳)

# 1. 景気判断

## (1)景気判断の概況

景気判断指数は $\triangle 58.5$  (前期比 1.2 ポイント下落)と 2 期ぶりの悪化となった。景気判断指数を構成する 3 つの指数については、「景気 (県内)」が $\triangle 16.6$  (前期比 0.1 ポイント下落)、「雇用環境」が $\triangle 12.0$  (前期比 0.4 ポイント下落)、「物価 (日用品)」が $\triangle 29.0$  (前期比 0.7 ポイント下落)と、「景気 (県内)」はほぼ横ばい、「雇用環境」と「物価 (日用品)」は小幅ながら悪化となった。

今後の見通しについては、▲59.5 (今回調査比1.0ポイント下落)と悪化が見込まれている。



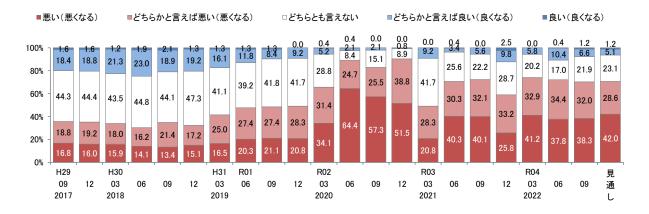
図表 3 景気判断指数(内訳)の推移

調査時	期	景気判断指数							
			景気 (県内)	雇用環境	物価 (日用品)				
03年 3月		<b>▲</b> 55. 5	<b>▲</b> 18.2	<b>▲</b> 18.5	▲ 18.8				
	6月	<b>▲</b> 56.9	<b>▲</b> 17.8	<b>▲</b> 17.4	<b>▲</b> 21.7				
	9月	<b>▲</b> 57.6	<b>▲</b> 17.8	<b>▲</b> 15.9	<b>▲</b> 23.9				
	12月	<b>▲</b> 46. 4	<b>▲</b> 11. 7	<b>▲</b> 10.4	<b>▲</b> 24. 3				
04年	3月	▲ 60.4	▲ 18.2	<b>▲</b> 14.5	<b>▲</b> 27.7				
	6月	▲ 57.3	<b>▲</b> 16.5	<b>▲</b> 11.6	<b>▲</b> 29. 2				
04年	9月	▲ 58.5	<b>▲</b> 16.6	<b>▲</b> 12.0	<b>▲</b> 29.9				
	(前期比)	(▲ 1.2)	( <b>A</b> 0.1)	( <b>A</b> 0.4)	( <b>△</b> 0.7)				
	(前年同期比)	(▲ 0.9)	(1.2)	(3.9)	(▲ 6.0)				
04年	見通し	<b>▲</b> 59.5	<b>▲</b> 17.5	<b>▲</b> 13.0	<b>▲</b> 29.0				
	(前期比)	(▲ 1.0)	( <b>△</b> 0.9)	(▲ 1.0)	(0.9)				

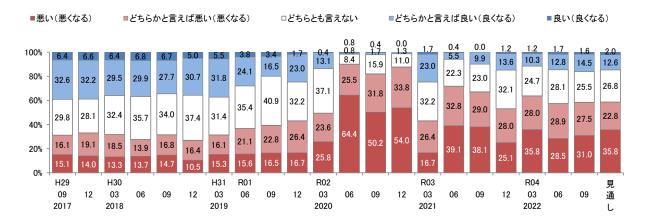


### (2) 景気判断の推移

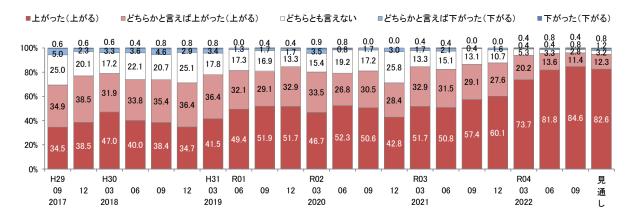
### ① 景気(県内)



#### ② 雇用環境



#### ③ 物価(日用品)



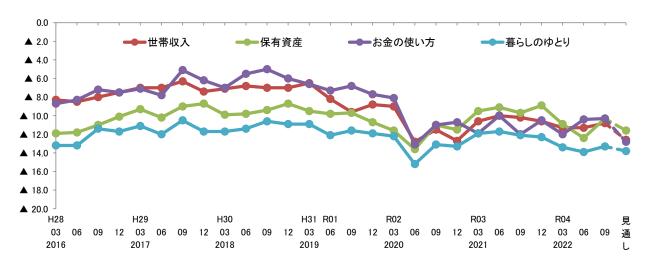


# 2. 暮らし向き判断

## (1)暮らし向き判断の概況

暮らし向き判断指数は $\triangle 44.7$ (前期比 3.3 ポイント上昇)と 3 期ぶりの改善となった。暮らし向き判断指数を構成する 4 つの指数については、「世帯収入」が $\triangle 10.8$ (前期比 0.5 ポイント上昇)、「保有資産」が $\triangle 10.3$ (前期比 2.1 ポイント上昇)、「お金の使い方」が $\triangle 10.3$ (前期比 0.1 ポイント上昇)、「暮らしのゆとり」が $\triangle 13.3$ (前期比 0.6 ポイント上昇)と、「お金の使い方」はほぼ横ばい、「世帯収入」「保有資産」「暮らしのゆとり」は改善となった。

今後の見通しについては、▲50.8(今回調査比6.1ポイント下落)と悪化が見込まれている。



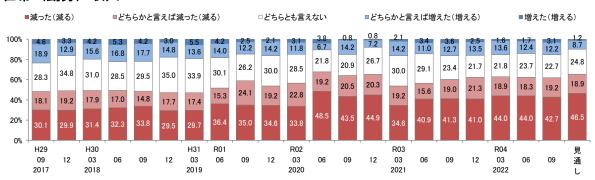
図表 4 暮らし向き判断指数(内訳)の推移

調査時	期	暮らし向き判断指数						
			世帯収入	保有資産	お金の使い方	暮らしのゆとり		
03年 3月		<b>▲</b> 43.9	<b>▲</b> 10.6	<b>▲</b> 9.5	<b>▲</b> 11.9	<b>▲</b> 11.9		
6月		<b>▲</b> 40.8	<b>▲</b> 10.0	<b>▲</b> 9.1	<b>▲</b> 10.0	<b>▲</b> 11.7		
9月		<b>▲</b> 44.0	<b>▲</b> 10.2	<b>▲</b> 9.7	<b>▲</b> 12.0	<b>▲</b> 12. 1		
	12月	<b>▲</b> 42.3	<b>▲</b> 10.6	▲ 8.9	<b>▲</b> 10.5	<b>▲</b> 12.3		
04年	3月	<b>▲</b> 47.6	<b>▲</b> 11.3	<b>▲</b> 10.9	<b>▲</b> 12.0	<b>▲</b> 13.4		
	6月	<b>▲</b> 48.0	<b>▲</b> 11.3	<b>▲</b> 12.4	<b>▲</b> 10.4	<b>▲</b> 13.9		
04年	9月	<b>▲</b> 44.7	▲ 10.8	▲ 10.3	<b>▲</b> 10.3	<b>▲</b> 13.3		
	(前期比)	(3. 3)	(0. 5)	(2. 1)	(0.1)	(0. 6)		
	(前年同期比)	(▲ 0.7)	( <b>A</b> 0. 6)	( 0.6)	(1.7)	(▲ 1.2)		
04年	見通し	▲ 50.8	<b>▲</b> 12.6	<b>▲</b> 11.6	<b>▲</b> 12.8	<b>▲</b> 13.8		
	(前期比)	( <b>△</b> 6. 1)	(1.8)	(1.3)	( <b>A</b> 2. 5)	( <b>△</b> 0.5)		

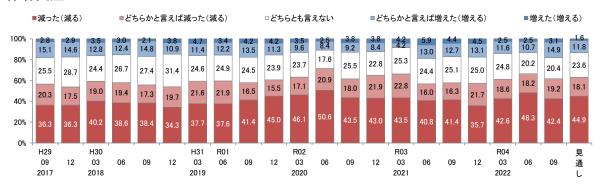


## (2)暮らし向き判断の推移

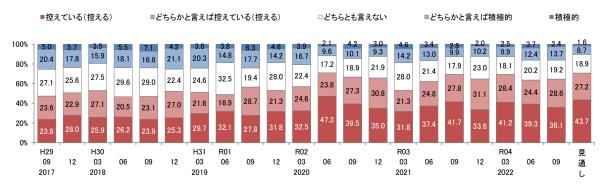
# ① 世帯(勤労)収入



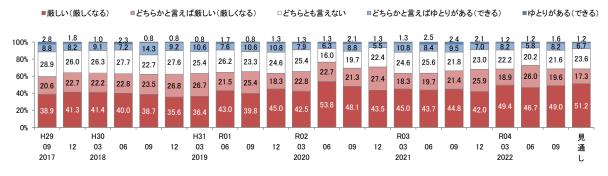
## ② 保有資産



#### ③ お金の使い方



### ④ 暮らしのゆとり



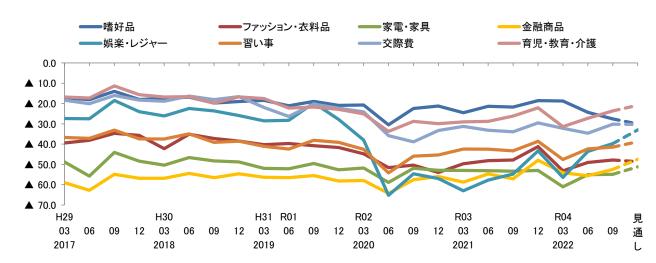


# III. 支出意向

## (1) 支出意向 D I の推移

支出意向 D I の平均値は、▲39.7 (前期比 1.8 ポイント上昇)と 2 期連続で改善となった。支出意向 D I を構成する 8 つの項目をみると、「嗜好品」で悪化となった一方、「交際費」や「娯楽・レジャー」など 7 項目で改善となった。

今後の見通しは、▲40.8 (今回調査比 1.1 ポイント下落)と悪化の見込みとなっている。



図表 5 支出意向DIの推移

調査時期		支出意向D	I							
			嗜好品	ファッション・ 衣料品	家電・家具	金融商品	娯楽・ レジャー	習い事	交際費	育児・教育 ・介護
03年	6月	<b>▲</b> 42.4	<b>▲</b> 21.4	<b>▲</b> 48.2	<b>▲</b> 53.1	<b>▲</b> 54.7	<b>▲</b> 57.8	<b>▲</b> 42.5	<b>▲</b> 33.2	<b>▲</b> 28.8
	9月		<b>▲</b> 21.8	<b>▲</b> 47.8	<b>▲</b> 53.4	<b>▲</b> 57. 1	<b>▲</b> 54.8	<b>▲</b> 43.3	<b>▲</b> 34.0	<b>▲</b> 26.2
	12月	▲ 36.8	<b>▲</b> 18.6	<b>▲</b> 41.3	<b>▲</b> 53.0	<b>▲</b> 48.0	<b>▲</b> 43.3	▲ 38.6	<b>▲</b> 29.6	<b>▲</b> 22.1
04年	3月	<b>▲</b> 44. 3	<b>▲</b> 18.8	<b>▲</b> 53.2	<b>▲</b> 61.1	<b>▲</b> 54.1	<b>▲</b> 56.4	<b>▲</b> 47.6	<b>▲</b> 32.2	<b>▲</b> 31.4
	6月	<b>▲</b> 41.5	<b>▲</b> 24.3	<b>▲</b> 49.1	<b>▲</b> 55.1	<b>▲</b> 55.6	<b>▲</b> 43.6	<b>▲</b> 42.4	<b>▲</b> 34.6	<b>▲</b> 27.3
04年	9月	▲ 39.7	<b>▲</b> 27.6	<b>▲</b> 47.9	<b>▲</b> 54.9	<b>▲</b> 52.5	▲ 39.8	<b>▲</b> 41.5	▲ 30.2	<b>▲</b> 23.6
	(前期比)	(1.8)	( 3.3)	(1.2)	(0.2)	(3. 2)	(3.8)	(0.9)	(4.4)	(3.7)
	(前年同期比)	(2. 6)	( <b>A</b> 5. 9)	(▲ 0.1)	(1.6)	(4. 7)	(15.0)	(1.8)	(3.8)	(2. 6)
04年	見通し	<b>▲</b> 40.8	▲ 30.1	▲ 48.7	▲ 51.2	<b>▲</b> 47.5	▲ 33.0	▲ 38.8	▲ 30.3	<b>▲</b> 20.9
	(前期比)	(▲ 1.1)	( <b>A</b> 2.5)	( <b>A</b> 0.8)	(3.7)	(5.0)	(6.8)	(2.7)	( <b>△</b> 0. 1)	(2.8)

#### 【DΙ値の見方】

各項目とも、現状判断についてそれぞれDI値を算出する。DI値とは、 $Diffusion\ Index$ (ディフュージョン・インデックス)の略で、算出方法は次の通り。

数値は四捨五入により一致しない場合があります。

#### 例) 嗜好品DI値

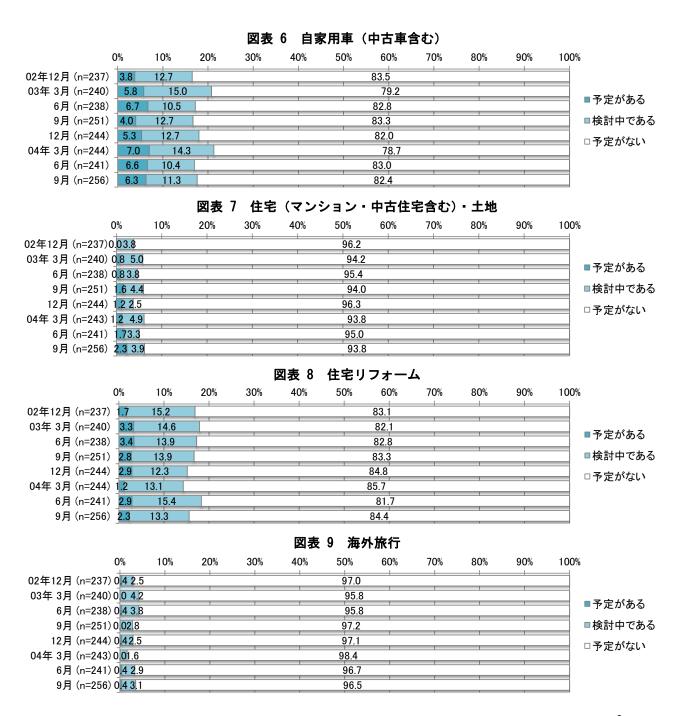
= (「1. 意欲的である」と回答した世帯の割合×1.0+「2. どちらかと言えば意欲的である」と回答した世帯の割合×0.5) — (「3. どちらかと言えば控える」と回答した世帯の割合×0.5+「4. 控えている」と回答した世帯の割合×1.0)



## (2) 支出意向(大きな買い物)の推移

大きな買い物の支出意向をみると、「予定がある」と回答した世帯の割合は、「海外旅行」は 0.4%(前期比  $\pm 0.0$  ポイント)と横ばい、「住宅(マンション・中古住宅含む)・土地」は 2.3%(前期比 0.6 ポイント上昇)で上昇となり、「自家用車(中古車含む)」は 6.3%(前期比 0.3 ポイント低下)、「住宅リフォーム」は 2.3%(前期比 0.6 ポイント低下)で低下となった。

大きな買い物(支出)に前向きな世帯(「予定がある」に「検討中である」を合わせた世帯)の割合は、「住宅リフォーム」が低下した一方、「自家用車(中古車含む)」「住宅(マンション・中古住宅含む)・土地」「海外旅行」が上昇した。

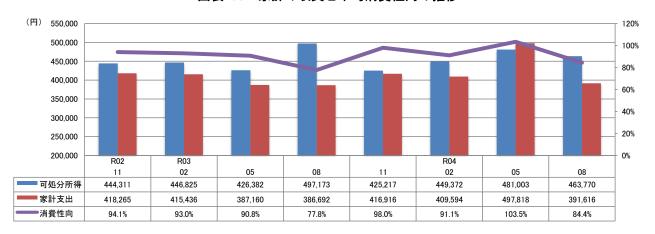




# IV. 家計簿調査

図表 10 家計簿(256世帯平均)

		03年	04年	04年	(単位	: 円)
調査	項目	8月	5月	8月	前期比	前年同期比
	世帯主の定例給与《支給額》	324, 711	326, 885	312, 853	<b>▲</b> 14, 032	<b>▲</b> 11, 858
44	世帯主の臨時給与《支給額》	37, 920	3, 938	38, 763		843
給	A. 世帯主の給与《支給額》	362, 631	330, 823	351,616	20, 793	<b>▲</b> 11,015
	世帯員の定例給与《支給額》	133, 462	129, 789	130, 685	896	<b>▲</b> 2,777
	世帯員の臨時給与《支給額》	18, 441	1, 173	19, 674	18, 501	1, 233
<b>5</b>	B. 世帯員の給与《支給額》	151, 903	130, 962	150, 359	19, 397	<b>▲</b> 1,544
7	世帯収入合計 《支給額》(A+B)	514, 534	461, 785	501, 975	40, 190	<b>▲</b> 12, 559
	世帯主の定例給与《手取り額》	256, 740	259, 418	248, 383	<b>▲</b> 11, 035	<b>▲</b> 8, 357
	世帯主の臨時給与《手取り額》	32, 540	3, 586	31, 441	27, 855	<b>▲</b> 1,099
収	C. 世帯主の勤労収入合計 《手取り額》	289, 280	263, 004	279, 824	16, 820	<b>▲</b> 9, 456
	世帯員の定例給与《手取り額》 世帯員の臨時給与《手取り額》	110, 414 15, 828	109, 243 1, 095	108, 039 16, 246	▲ 1, 204 15, 151	▲ 2,375 418
	D. 世帯員の勤労収入合計 《手取り額》	126, 242	110, 338	124, 285	13, 947	<b>▲</b> 1, 957
	世帯勤労収入合計 《手取り額》(C+D)	415, 522	373, 342	404, 109	30, 767	▲ 11, 413
	1. 公的年金給付(老齡、障害、遺族年金) 2. 保険給付金(医療、介護、失業保険)	38, 252 817	7, 971 1, 646	34, 874 699	26, 903 ▲ 947	▲ 3, 378 ▲ 118
入	3. 各種手当(児童手当など)	3, 048	2, 436	3, 541	1, 105	493
	4. 利息、株式配当、投信分配金	1, 523	1, 641	458	<b>▲</b> 1, 183	<b>▲</b> 1, 065
	5. 事業収入 (個人事業、農林水産業など)	128	757	0	<b>▲</b> 757	▲ 128
	6. 不動産収入 (駐車場、アパート家賃など)	3, 881	3, 107	1, 746	<b>▲</b> 1, 361	<b>▲</b> 2, 135
	7. 有価証券売却・解約金(株、投資信託など)	3, 016	405	39	▲ 366	▲ 2,977
手	8. 不動産売却 (土地、住宅、マンションなど) 9. 中古品売却 (リサイクルショップなど)	0 442	737	0 379	0 ▲ 358	0 ▲ 63
	10. 保険満期返戻金	11, 905	2, 091	1, 662	▲ 356 ▲ 429	<b>▲</b> 10, 243
取	11. 保険一時金(生命保険、損害保険など)	2, 192	14, 699	4, 644	▲ 10, 055	2, 452
り	12. 相続、贈与、退職金	5, 556	42, 181	0	<b>▲</b> 42, 181	<b>▲</b> 5, 556
	13. 祝金、謝礼金、香典など	742	2, 472	5, 232	2, 760	4, 490
額	14. 身内からの仕送り	3, 738	8, 384	2, 492	▲ 5,892	▲ 1, 246
	15. 借り入れ (カードローン、キャッシング) 16. その他	1, 394 5, 017	4, 643 14, 491	411 3, 484	▲ 4, 232 ▲ 11, 007	▲ 983 ▲ 1,533
	E. その他収入(控除後)	81, 651	107, 661	59, 661	<b>▲</b> 48, 000	<b>▲</b> 21, 990
I	. 収入計 (C+D+E)	497, 173	481, 003	463, 770	<b>▲</b> 17, 233	<b>▲</b> 33, 403
	食費(飲食会費は含まない)	54, 741	55, 317	55, 500	183	759
	住居費(家賃、駐車場、修繕)	21, 847	25, 063	15, 301	<b>▲</b> 9, 762	<b>▲</b> 6,546
	水道・光熱費(電気、ガス、上下水道、灯油など)	25, 571	30, 184	26, 677	<b>▲</b> 3, 507	1, 106
	生活用品(生活雑貨、家事消耗品など)	12, 107	12, 046	12, 310	264	203
	被服・装飾費(衣服、アクセサリー等)	9, 575	9, 756	8, 959	▲ 797	▲ 616
	医療・介護・理美容(通院、医薬品など)	15, 365	16, 621	14, 095	▲ 2,526	<b>▲</b> 1, 270
	交通費 1 (バス、鉄道、飛行機、高速道路料金など) 交通費 2 (ガソリン代)	2, 227 16, 465	3, 120 16, 482	3, 444 17, 862	324 1, 380	1, 217 1, 397
0.	自動車関連費用(車検、メンテナンス、タイヤなど)	14, 669	27, 980	10, 859	<b>▲</b> 17, 121	<b>▲</b> 3,810
10.	. 通信費(電話、新聞、受信料、プロバイダー料金など)	23, 093	22, 887	22, 193	<b>▲</b> 694	▲ 900
	. 教育費 (授業料、教材費、学習塾、部活費用など)	14, 214	17, 845	12, 500	<b>▲</b> 5, 345	<b>▲</b> 1, 714
	. 育児費(子ども用品、保育園、幼稚園など)	4, 595	3, 691	4, 436	745	<b>▲</b> 159
	. 交際費 (飲食会費、贈答品、冠婚葬祭費など) . 娯楽、趣味 (旅行、レジャー、映画鑑賞など)	13, 733 9, 461	11, 056 9, 543	19, 255	8, 199 1, 411	5, 522 1, 493
	. 娯楽、趣味(旅行、レンヤー、映画鑑貞など)	2, 924	2, 680	10, 954 3, 309	629	385
16.	. 高額商品(パソコン、家電、家具、インテリアなど)	7, 397	9, 832	6, 814	<b>▲</b> 3, 018	<b>▲</b> 583
17.	. 金融商品 1 (株、国債、外貨、金など)	1, 223	5, 858	13, 846	7, 988	12, 623
	. 金融商品 2 (投資信託、変額・定額年金保険)	12, 818	10, 452	11, 133	681	▲ 1,685
19.	. 借入返済1(住宅ローン)	31, 046	110, 867	31, 031	<b>▲</b> 79, 836	<u>▲ 15</u>
	. 借入返済2(自動車、学資、カードローン) . 税金、各種保険料支払い(給与天引き以外)	16, 631 36, 165	11, 715 49, 644	13, 400 34, 836	1, 685 <b>1</b> 4, 808	▲ 3, 231 ▲ 1, 329
	. 身内への仕送り(学生など)	7, 446	6, 403	8, 692	2, 289	1, 246
	・小遣い、その他	33, 379	28, 776	34, 210	5, 434	831
П	支出計	386, 692	497, 818	391, 616	▲ 106, 202	4, 924
平:	均消費性向(支出計÷収入計×100)	77. 8%	103.5%	84. 4%	<b>▲</b> 19.1%	6.6%
	平均貯蓄性向(1-平均消費性向)	22. 2%	▲3.5%	15.6%	19.1%	<b>▲</b> 6.6%



図表 11 家計の収支と平均消費性向の推移

家計簿調査によれば、収入面では可処分所得(収入の手取り額)が 464 千円と前年同期に比べて 33 千円の減少となった。勤労収入では、「世帯主の勤労収入合計(手取り額)」が前年同期比で 9 千円の減少、「世帯員の勤労収入合計(手取り額)」は 2 千円の減少となり、「世帯勤労収入合計(手取り額)」は 404 千円(前年同期比 11 千円減少)となった。「その他収入(控除後)」は 60 千円(前年同期比 22 千円減少)で、減少額の大きな項目としては「保険満期返戻金」(前年同期比 10 千円減少)や「相続、贈与、退職金」(前年同期比 6 千円減少)となった一方、大きく増加した項目はなかった。

支出面では、支出計が392千円と前年同期比で5千円の増加となった。内訳をみると、減少額が大きな項目は「住居費(家賃、駐車場、修繕)」(前年同期比7千円減少)で、増加額の大きな項目は「金融商品1(株、国債、外貨、金など)」(前年同期比13千円増加)や「交際費(飲食会費、贈答品、冠婚葬祭費など)」(前年同期比6千円増加)となった。

その結果、平均消費性向(家計支出/可処分所得)は84.4%となり、前年同期に比べて6.6ポイントの上昇となった。

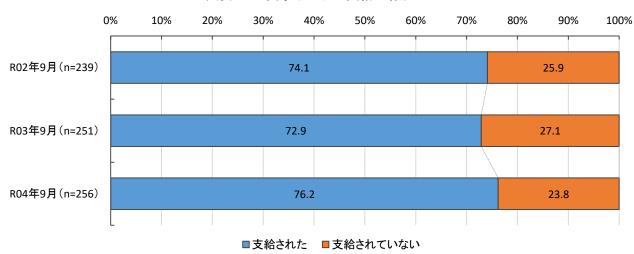


# V. 特別調査

# 1. 夏季ボーナスの支給状況と使い道について

# (1) 夏季ボーナス支給の有無

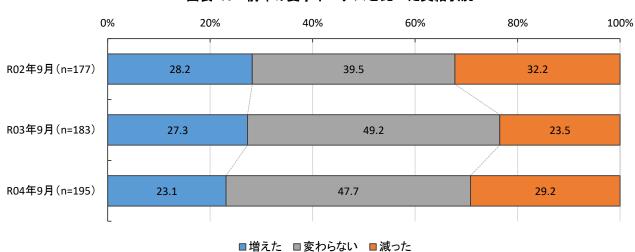
家計の主たる収入を得ている人について、夏季ボーナスが支給されたかどうかを尋ねたところ、「支給された」が 76.2% (前年比 3.3 ポイント上昇) と前年から上昇となり、7 割以上を占めた。



図表 12 夏季ボーナス支給の有無について

## (2) 支給状況

夏季ボーナスが「支給された」と回答した世帯に、前年と比べた支給額の状況を尋ねたところ、「変わらない」が 47.7% (前年比 1.5 ポイント低下) ともっとも高く約 5 割を占め、次いで「減った」が 29.2% (前年比 5.7 ポイント上昇)、「増えた」が 23.1% (前年比 4.2 ポイント低下) となった。「増えた」世帯の割合は 3 期連続で低下となった。

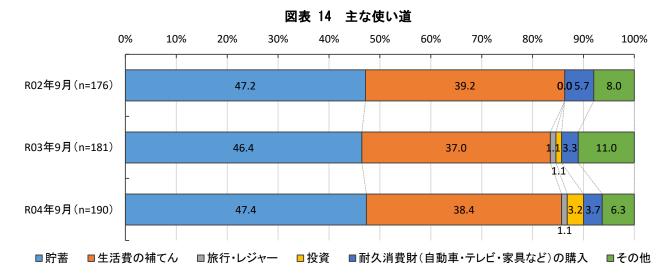


図表 13 前年の夏季ボーナスと比べた支給状況



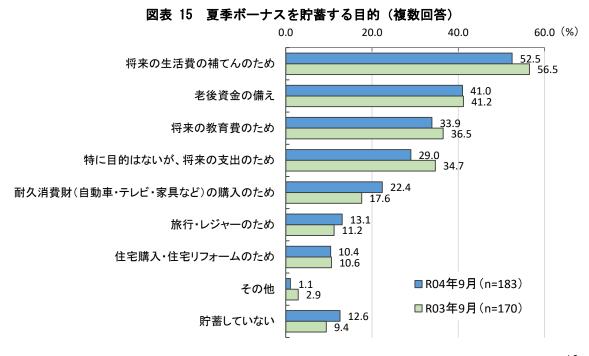
## (3) 主な使い道

夏季ボーナスが「支給された」と回答した世帯に、ボーナスの使い道(もっとも金額が大きいもの)を尋ねたところ、「貯蓄」が 47.4%(前年比 1.0 ポイント上昇)ともっとも高く、次いで「生活費の補てん」が 38.4%(前年比 1.4 ポイント上昇)となった。「旅行・レジャー(1.1%)」は横ばい、「貯蓄」「生活費の補てん」「耐久消費財(自動車・テレビ・家具など)の購入 (3.7%)」「投資 (3.2%)」は上昇した。



(4)夏季ボーナスを貯蓄する目的

夏季ボーナスが「支給された」と回答した世帯に、ボーナスのうち貯蓄にあてた分について、その目的を尋ねたところ、「将来の生活費の補てんのため(52.5%)」がもっとも高く 5 割以上を占めた。次いで「老後資金の備え(41.0%)」、「将来の教育費のため(33.9%)」、「特に目的はないが、将来の支出のため(29.0%)」と続き、前年と同様の結果となった。



12



# VI. 調査の概要

#### 1. 調査の目的

山形県民の暮らし向きや今後の見通しについて時系列的に捉えるとともに、具体的な商品やサービスに対する支出動向を把握することにより、景気判断等の基礎資料を得ることを目的とする。

#### 2. 調査の内容

- ◆ 郵送調査専属モニターを利用したアンケート調査
- ◆ モニター世帯数: 271 世帯 有効回答数: 256 世帯 回答率: 94.5%

### 3. 回答モニター属性



#### 4. 調査の対象者

・山形県内に在住する勤労者(サラリーマン)世帯(世帯人数2人以上の世帯)

#### 5. 調査期間

· 令和 4 年 9 月 1 日 (木) ~15 日 (木)

#### くお問い合わせ先>

株式会社フィデア情報総研

リサーチ&コンサルティング事業本部 熊本 均 / 手塚 綾子 〒990-0043 山形県山形市本町1-4-21荘銀山形ビル8F TEL:023-626-9017 FAX:023-626-9038

TEL: 023-626-9017 FAX: 023-626-9038 E-mail: kenkyuu@fir.co.jp URL: https://www.fir.co.jp/